

津波から身を守るために **気づき、考え、実行しよう**

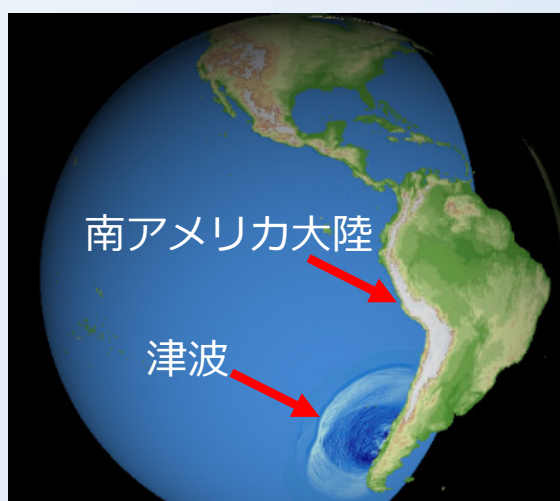
質問

【Ⅲ 揺れを感じぬまま津波が襲来^{しゅう}】

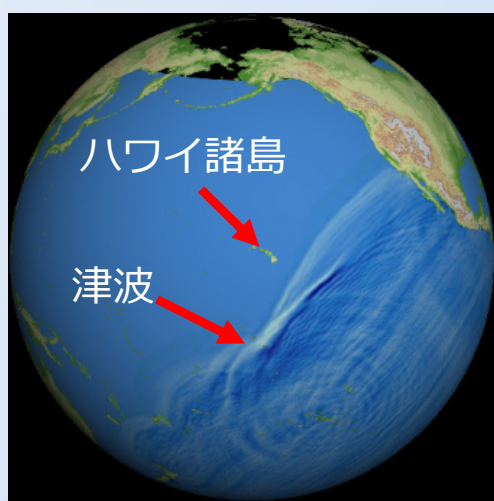
次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波を発生させる地震は、日本周辺でしか起きない。
- ② 津波は必ず揺れを感じた後に押し寄せてくる。
- ③ 海はつながっているため、国外で発生した津波が日本へ到達することがある。

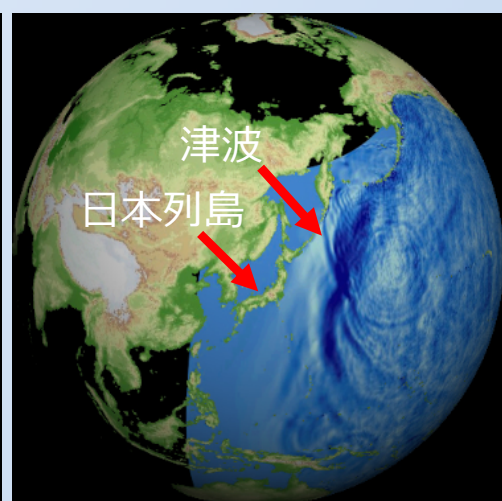
* 正解は、次の文章・図の中に書かれています。



地震発生から2時間後



14時間後



22時間後

1960年チリ地震津波の再現実験の様子

内閣府防災情報HPより

ポイント！

日本は海に囲まれていることから、国外で規模の大きな地震が発生すると、遠方から津波が押し寄せることがある。

豆知識

1960年チリ地震津波について

1960年5月23日チリ中部沿岸でマグニチュード9.5という巨大地震が発生しました。この地震によって生じた津波は約1日かけて日本に襲来し、東北地方の三陸沿岸で8.1mの高さとなったほか、太平洋沿岸の広い範囲で観測され、多くの被害が生じました。

考えてみよう！

- ・ 国外で発生した津波が日本へ影響を与えるかについてどこから情報を入手しますか。
- ・ 情報を入手した後、どのような行動を取りますか。

答え

津波から身を守るために

解説編

【Ⅲ 揺れを感じぬまま津波が襲来^{しゅう}】

国外の地震による津波について学習させます。



『1960年チリ地震津波』の津波被害の様子

左：岩手県大船渡市 右：三重県北牟婁郡海山町（現在の紀北町）

国内で揺れを感じることなく津波が押し寄せる『遠地津波』は、現在のような情報発表体制が整うまでに世界の各国で甚大な被害をもたらしました。1960年のチリ地震を契機に津波災害の防止・軽減を目的とした国際的な組織が設立され、太平洋沿岸の関係国が地震・津波に関する情報を相互に交換することとなりました。なお、津波がフィリピン付近で発生した場合はおよそ2時間後に、アラスカ付近で発生した場合ではおよそ5時間後に日本へ到達すると考えられます。

2004年12月26日スマトラ島沖で、マグニチュード9.1の巨大地震が発生しました。この地震によって発生した大津波は、スマトラ島及びインド洋の沿岸地域などに押し寄せ、その後、遠く離れたアフリカ大陸東岸の地域にあたるソマリア、ケニアなどにまで達しました。この大津波による死者・行方不明者は30万人を超え、未曾有の被害をもたらしました。この地震発生当時、インド洋領域において、津波情報を発表するような機関が存在しなかったことも被害を大きくした要因の一つと考えられます。現在では、インド・インドネシア・オーストラリア当局が津波情報提供機関として、この領域の情報発表を行っています。

もう少し、
しっかり学
ばせたい！

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：③

・考えてみようの答えについて

気象庁では国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合等の際、地震発生から概ね30分以内に『遠地地震に関する情報』を発表します。この情報では、日本や国外への津波の影響に関しても記述します。その後、日本において津波による災害の発生が予想される場合には『津波警報等』を発表します。これらの情報はテレビ・ラジオ・スマートフォンで知ることができるので、津波から身を守るための避難行動に活用しましょう。